

熊本大学学術リポジトリ

Kumamoto University Repository System

| | |
|------------|---|
| Title | 田園にて（二等賞） |
| Author(s) | 福田， 秀信 |
| Citation | 龍南， 1 8 7： 9 9 - 1 0 1 |
| Issue date | 1923-11-20 |
| Type | Departmental Bulletin Paper |
| URL | http://hdl.handle.net/2298/8661 |
| Right | |

田園にて

(二等賞)

理三乙

福

田

秀

信

×

夜をふかみかすけく雷の音すなり

ふるさとの床の

あたゝかきかも

×

不平なく汗にまみれて働きし

この一日を

聖しと思ふ

×

群をはなれ静かに草の芽を摘めば

幼かりける

日进行ひ出でぬ

×

春雨の今日をひねもす鍛冶の音
絶え間なくひびき

村は暮れ行く

×

ひたぶるに鋤ふり上げて耕せば
土のかほりの
なつかしきかな

×

ペン先きの少し錆びしを見つめつゝ
吾が生涯の
一日を思ふ

×

傳記よみてまだ彼よりも若しなご
思ひし頃も
いつしか過ぎぬ

×

初秋の空に浮べる白き雲
淋しき影をひきて

あるかな

×

消_{ゴム}のうす赤きなごみつめつゝ
數理の學に

長_たけふるを悔ゆ

×

曇り日の

本庄の沼のすゝきの穂

さやさや鳴りて秋深み行く。